



むかしの道具



～使い方とその歴史～



春日部市郷土資料館

※この冊子は、身近な道具のうつりかわりについて、イラストでわかりやすく解説したものです。

小学校第三学年社会科の学習・教材などにご活用ください。

<洗たく道具のうつりかわり>

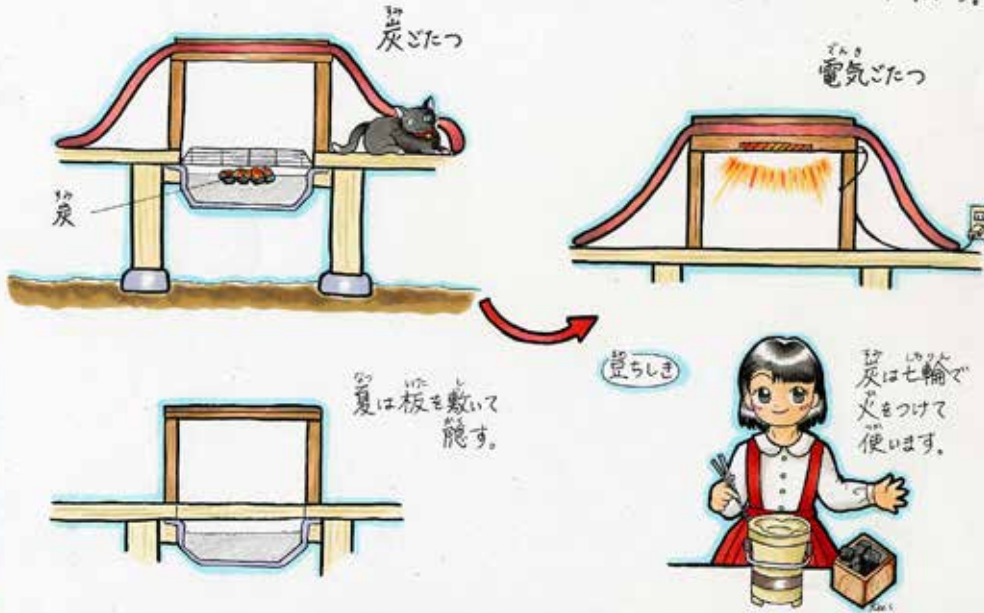


<アイロンのうつりかわり>

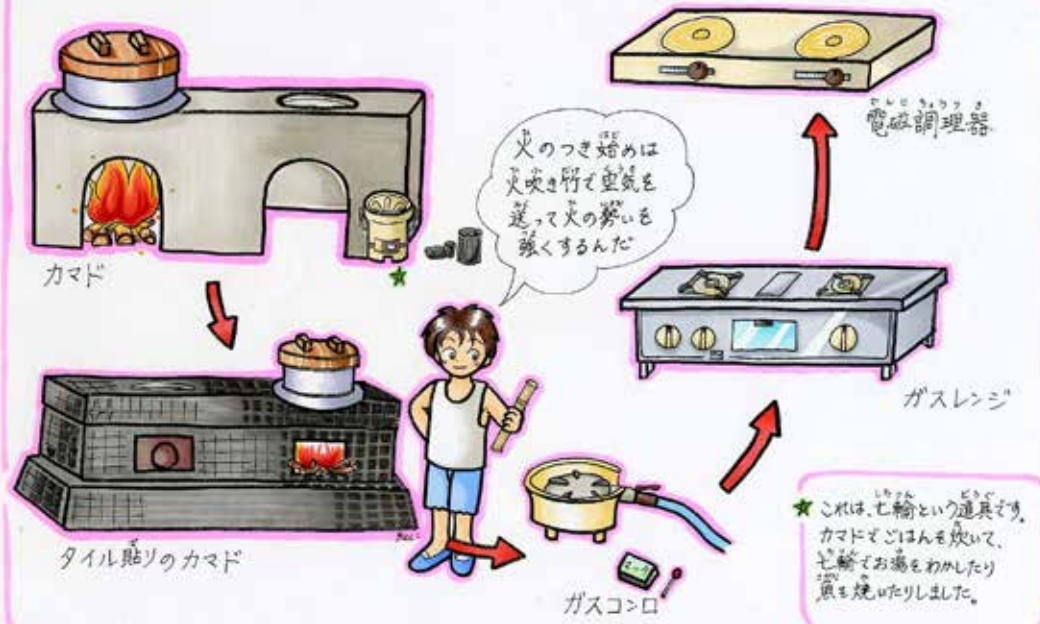


<こたつのうつりかわり>

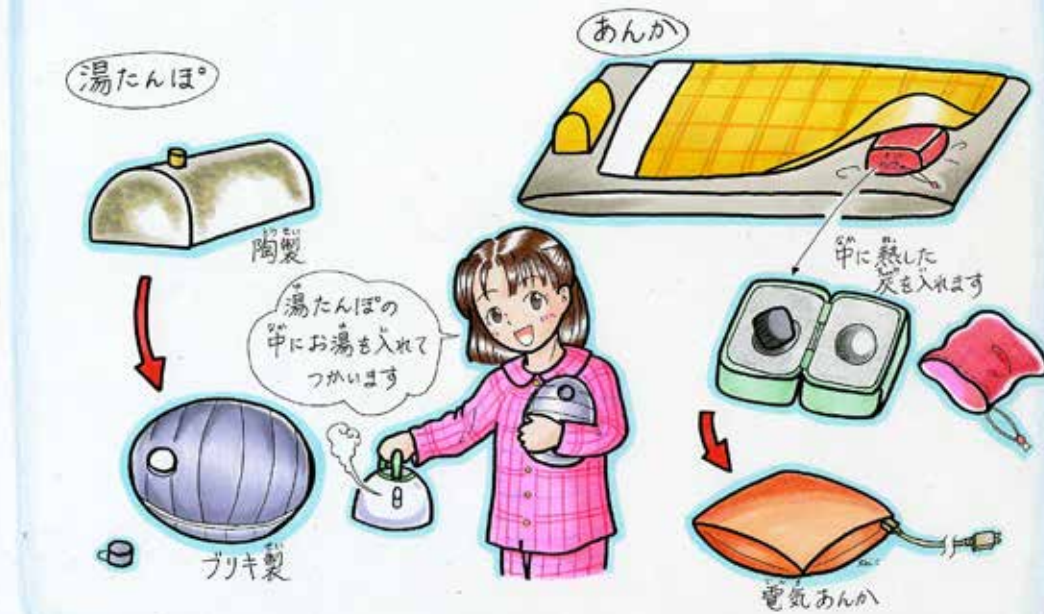
こたつは今から500年以上むかし^{（ろうりやうじだい）}の室町時代から使われはじめました。二輪に広まったのは江戸時代です。



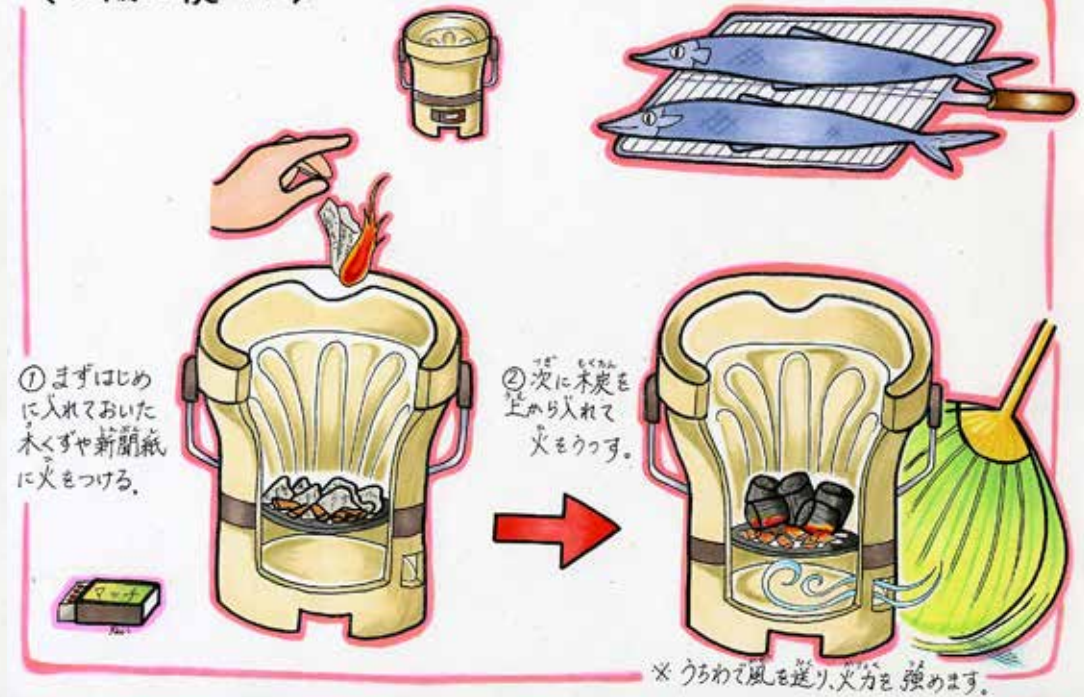
<カマドのうつりかわり>



<寝るときにつかう暖をとるための道具>

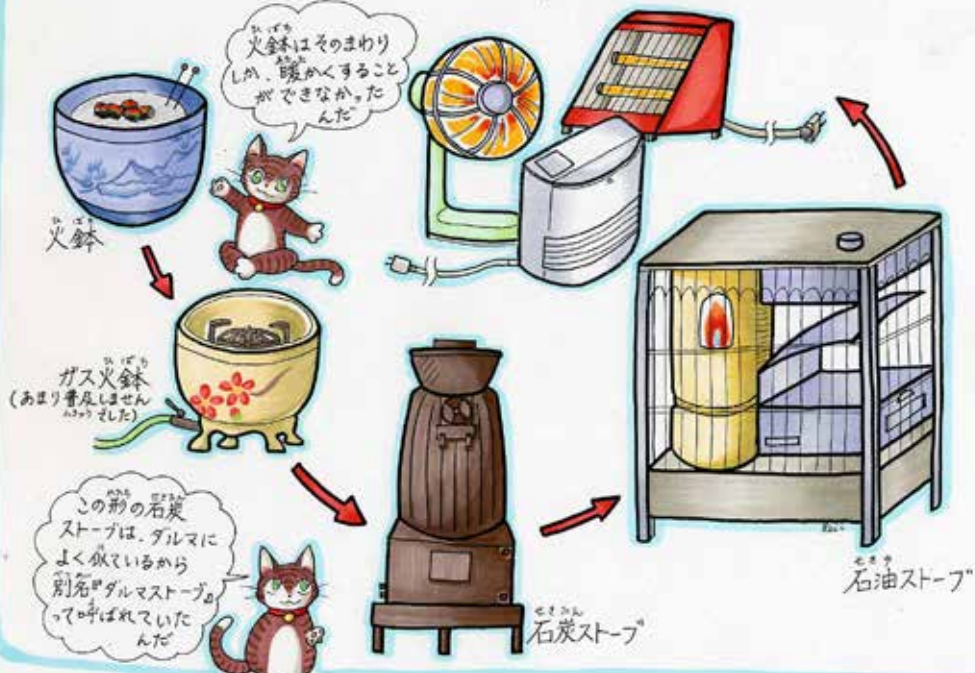


<七輪の使いかた>

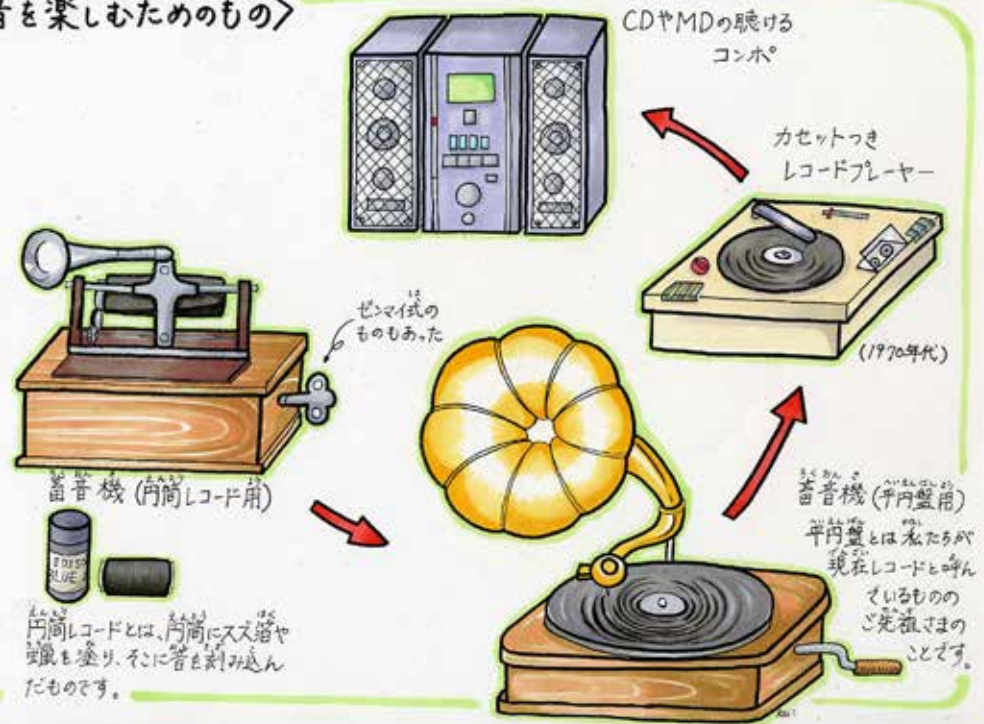


<ストーブのうつりかわり>

ハロゲンストーブや電気ストーブなど



<音を楽しむためのもの>



<火鉢のつかいかた>



<あかりのうつりかわり>





選米 (せんまい)
唐箕 (とうみ) でもみからをとばす



選米 (せんまい)
万石通し (まんごくどおし) で
小さな米をのぞく



しろかき・田ならし
えぶり で、田んぼの土をならす



田植え (たうえ)
苗 (なえ) を植える



除草 (じょそう)
田こすりで雑草 (ざっそう) をとる

むかしのお米づくり

トラクターなどの機械が広まる昭和40年頃までの
農家の人は、お米を手作業でつくっていました。

※太字は農家の人が使った道具の名前です。



もみとり
唐うす (からうす) で
もみからをとる



天日干し (てんぴぼし)
保存 (ほぞん) できるように、
もみのまま乾燥 (かんそう) させる



脱穀 (だっこく)
せんばこきで稲からもみをとる



稲干し (いねほし)
たばねた稲を稲架 (はさ・のろし) 干す



稲刈り (いねかり)
田下駄 (たげた) と田舟 (たぶね) を
つかって、鎌 (かま) で稲を刈る

《実物の写真》



おひつ



台ばかり



火のし



有明行灯（ありあけあんどん）



手回し式洗濯機（せんたくき）



箱火鉢（はこひばち）



石うす



木製の冷蔵庫（れいぞうこ）



炭火アイロン



かまど



石板（せきばん）



唐箕（とうみ）



蓄音機（ちくおんき）・レコード



白黒テレビ



ダイヤル式の電話